

今週のビルマのニュース 2008年12月19日号【0840号】

今週の主なニュース：ネウィン将軍の娘が自宅軟禁から解放される、ほか

・元独裁者ネウィン将軍の娘が6年ぶりに自宅軟禁から解放された。クーデターを企てたとして2002年から自宅軟禁下に置かれていた。夫や3人の息子は今もインsein刑務所に収容中(14日付AFP)。

・民主化活動家の代理人で、自身も禁固刑判決を受けた弁護士ソーチョーチョーミン氏がタイに逃げていたことがわかった。タイで行われた記者会見で氏は、ビルマの司法制度は軍政の圧制の道具のひとつになってしまったと述べ、司法の独立が確保されていないことを嘆いた(15日付イラワディ誌)。

その他：日本がビルマ難民の第三国定住を受け入れへ、ほか

・伊藤外務副大臣は18日の記者会見で、平成22年度からパイロットケースとして、タイの難民キャンプから第三国定住によりビルマ難民を受け入れ、定住等の支援を行うことについて16日に閣議の了解を得た、と述べた。ビルマ難民の第三国定住をアジアの国が受け入れるのは初めてとなる。

タイ・ビルマ国境支援協会(TBBC)によれば、タイ政府がビルマ難民の第三国定住を認めた2005年以降、約3万人が第三国に定住した。これまでに11か国(オーストラリア、カナダ、デンマーク、フィンランド、アイルランド、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、スウェーデン、英国、米国)が受け入れており、約7割が米国に定住。第三国定住者数は今後も増える見込み。

・大量発生したネズミが穀物を食い荒らし住民が食糧不足に陥っているチン州から、チン民族住民2000人以上がタイに不法入国している。入国を手配する密輸業者によれば、多くがマレーシアを目指している。救援団体によれば、チン州では10~50万人が食糧難に直面している(12日付イラワディ誌)。

・国連が第三国連事務総長ウタントの生誕100周年を記念し、来年2月に郵便切手を発売することになった(12日付イラワディ誌)。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

[佐々江賢一郎外務審議官のビルマ訪問]
外務省によれば、佐々江賢一郎外務審議官が18日から20日までビルマを訪問し、二国間関係等について意見交換を行う。

[草の根・人間の安全保障無償資金協力]

12月10日

・シャン州 病院への医療機器提供 約355万円

12月12日

・ヤンゴン管区 障害者訓練施設建設 約790万円

・マンダレー管区

農業訓練センター建設 約740万円

12月15日

・マンダレー管区 孤児院建設 約761万円

イベントなど

・2008年度ワン・ワールド・フェスティバル~感じる・ふれあう・助け合う 世界につながる国際協力のお祭り 日本ビルマ救援センターによる活動紹介・ビルマ難民支援バザーあり。映画「ビルマ、パゴダの影で」21日10時より上映。フォトジャーナリスト宇田有三が解説(大阪国際交流センター、20日・21日、10時~)

・ミャンマーの伝統系あやつり「ヨウッター・ポエー」~シリーズアジアの人形芝居 part14~王族から庶民にまで広く愛されたミャンマーの華麗なる伝統芸能 7年ぶりの来日公演 現代人形劇センター主催(2月)

ジェーン・バーキン最新アルバム『冬の子供たち』が発売中。アウンサンスーチー氏に捧げる楽曲「アウンサンスーチー」を収録。

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)

<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク

<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀

yuki@burmainfo.org 080-2006-0165

2008年の「今週のビルマのニュース」は本0840号が最終号となります。2009年も「今週のビルマのニュース」をどうぞよろしくお願いたします。